

環境経営レポート

有限会社住建総業

2024 年度

(対象期間 2024 年6月1日～ 2025 年 5月31日)



令和5年度県単河川改修(補正)工事姫宮橋下



発行日: 2025年7月14日
更新日:

目 次

項 目	ページ
はじめに	2
目次	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
認証・登録の対象組織・活動	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	8
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	9

はじめに











当社は2009年10月24日に「環境方針」を定め、環境マネジメントシステムを立ち上げました。このシステムでは、当社の事業年度に合わせ、毎年6月1日から翌年5月31日までをひとつの区切りとしています。

環境経営方針

【基本理念】

当社は地球環境の悪化に対して、建設工事の事業活動における環境負荷の低減を図るために、燃料、電力、水資源の節約に取り組みます。

環境経営への行動指針

1. 当社の事業活動により生じる環境への影響をしっかりと把握し、継続的改善及び環境汚染防止に努めます。
2. 環境に関する法律、協定を遵守します。
3. 当社の事業活動によって生じる環境影響については、次の視点から適切な環境目的及び目標を設定し活動していきます。環境目的、目標は定期的に見直しを行います。
 - ①燃料の消費に伴うCO2排出量の削減に取り組みます
 - ②建設廃材を中心としたリサイクル促進に努めます
 - ③水資源の節約に努めます
 - ④環境負荷の少ない資材の使用推進に努めます
 - ⑤地形の改変を最小限にするよう努めます
4. 作業現場周辺への環境保全に配慮し、地域から信頼される事業活動を行います。
5. 環境方針は、全社員に周知徹底し、社外へ公開します。
6. 環境経営の継続的改善を誓約します。
7. SDGsを推進します。

2025年5月30日

代表取締役社長 小池茂樹

組織の概要

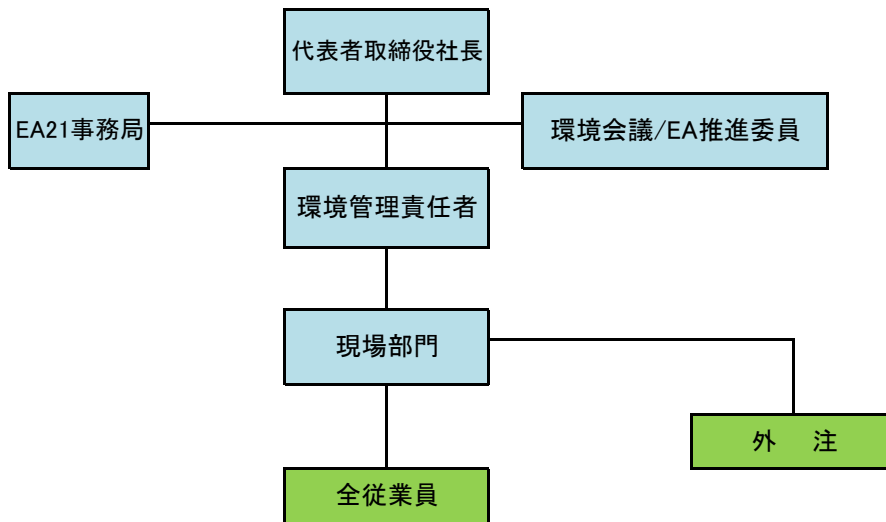
- (1) 名称及び代表者名
有限会社住建総業
代表取締役社長 小池茂樹
- (2) 所在地
本社・倉庫 長野県 諏訪市 中洲 5568-18 TEL0266-75-0357
資材置き場 長野県 諏訪市 中洲 2517-2 FAX0266-75-0358
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 関 秀光
- (4) 法人設立年月日
平成8年6月24日
- (5) 事業内容
土木工事の施工及び設計・監理
産業廃棄物収集運搬業
- (6) 建設業許可
長野県知事許可 22459号
許可の有効期間 令和3年9月21日から令和8年9月20日まで
- | | |
|-------|----------|
| 土木工事業 | とび・土工工事業 |
| 石工事業 | 鋼構造物工事業 |
| 舗装工事業 | しゅんせつ工事業 |
| 塗装工事業 | 水道施設工事業 |
| 解体工事業 | |
- (7) 産業廃棄物収集運搬許可
長野県 許可番号 2002133101号
許可の有効期間 令和4年2月14日から令和9年2月13日まで
事業の範囲
収集運搬(積み替え保管なし)
・紙くず、木くず、ゴムくず金属くず
・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
・廃プラスチック類、がれき類(石綿含有産業廃棄物含む)
- (8) 事業の規模
資本金2千万円
売上高 388,000 千円
従業員数 17名
事業所の延床面積304㎡ 資材置き場 2000㎡
車種 ダンプ10t 2 台 ダンプ3t 2 台 軽トラック 2 台 合計 6 台
- (7) 事業年度
2024 年 6月1日・2025 年 5月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 有限会社住建総業
対象事業所 : 本社・倉庫
資材置き場
対象外 : なし
活動 : 土木工事の施工及び設計・監理
産業廃棄物収集運搬業

環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2025年7月14日



所属(役職)	役割・責任・権限
代表取締役	環境経営の統括責任者であり、環境理念及び環境方針を策定し、全社員に周知させると共に環境への取組を適切に実行する為の資源の提供を行う。また、環境管理責任者を任命し、環境会議を実施して環境マネジメントシステムの見直しを行う。
環境管理責任者	ガイドラインの要求事項を満たす環境マネジメントシステムの構築・運用に責任を持つと共に、必要な権限を持つ。またその状況を社長に報告する義務を負う。
EA21推進委員	環境目標、環境活動計画を策定し、部門内に周知させ、環境方針の展開指導を行う。活動の実績結果は環境管理責任者に報告する義務を負う。
EA21事務局	EA21のデータ管理、文書管理を行う。
環境会議	事務局が主管となり、原則年2回、環境目標の達成状況、計画の実施状況等の報告、確認、及び是正、予防処置を行う
現場部門リーダー	各作業所において環境目標を周知し、目標を達成できるよう環境活動を指導する。
全従業員	環境方針の理解と環境への取組重要性を理解し、自主的・積極的に環境活動に参加し、問題点の発見、是非、予防処置を行う

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

取扱う産業廃棄物の取類 (特別管理産業廃棄物を除く)	積替え 保管	※○:取り扱うもの ◎:積替え又は保管行為を含むもの			
		石綿含有 産業廃棄物	水銀使用製品 産業廃棄物	水銀含有 ばいじん等	自動車 破砕物
廃プラスチック類	—	○	—	—	—
紙くず	—	—	—	—	
木くず	—	—	—	—	
ゴムくず	—	—	—	—	
金属くず	—	—	—	—	
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	—	—	—	—	
がれき類	—	○	—	—	

主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度	
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	453,073	333,035	419,115	
Scope1(化石燃料)	kg-CO ₂	447,432	327,745	414,548	
Scope2(電力)	kg-CO ₂	5,641	5,290	4,567	
受託収集運搬量	トン	160	1,400	502	
受託中間処理量	トン	0	0	0	
受託最終処分量	トン	0	0	0	
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	kg	31	35	34	
産業廃棄物排出量	トン	569	637	170	
水使用量	m ³	56	64	44	
※二酸化炭素排出係数 (2022年度調整後排出係数)		0.423	0.423	0.423	kg-CO ₂ /kWh
		中部電力ミライズ			

※負荷の実績は工事現場を含む

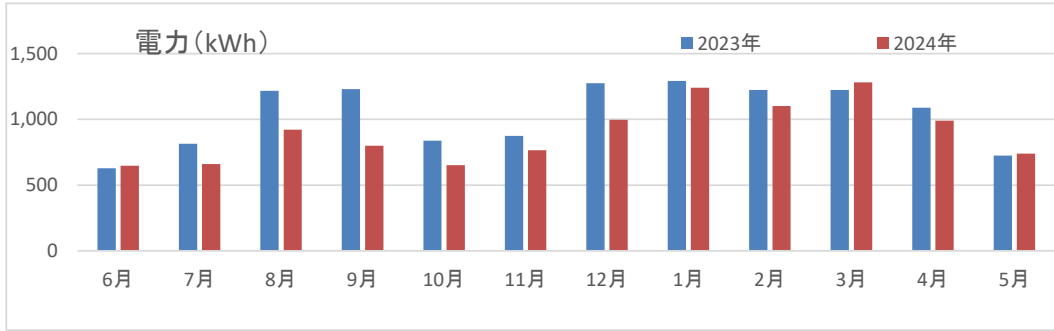
環境経営目標及びその実績

項目	年度	2023年度	2024年度		評価	2025年度	2026年度
		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kWh	12,507	12,382	10,797	○	12,257	12,132
	基準年度比		99%			98%	97%
売上高原単位	kWh/千円	0.038	0.037	0.028	○	0.037	0.037
	kg-CO ₂	5,290	5,238	4,567	○	5,185	5,132
原単位	基準年度比	2023年	99.0%	86.3%		98.0%	97.0%
	kg-CO ₂ /千円	0.016	0.016	0.012	○	0.016	0.016
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	9,066	8,975	13,632	×	8,885	8,794
	基準年度比		99%	150%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	318,679	315,492	400,891	×	312,305	309,118
	基準年度比	2023年	99.0%	125.8%		98.0%	97.0%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	333,035	329,705	419,091		326,375	323,044
一般廃棄物の削減	kg	31	30	28	○	30	30
	基準年度比	2023年	98.0%	90.3%		98.0%	97.0%
建設副産物の再資源化率の向上	%	99.2%	99.0%	98.7%	×	99.0%	99.0%
水道水の削減	m ³	64	63	44	○	62	62
	基準年度比	2023年	99.0%	69.3%		98.0%	97.0%
化学物質の適正管理		適正管理	適正管理	適正管理		適正管理	適正管理
環境に配慮した工事の推進		行動目標(次項による)					

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

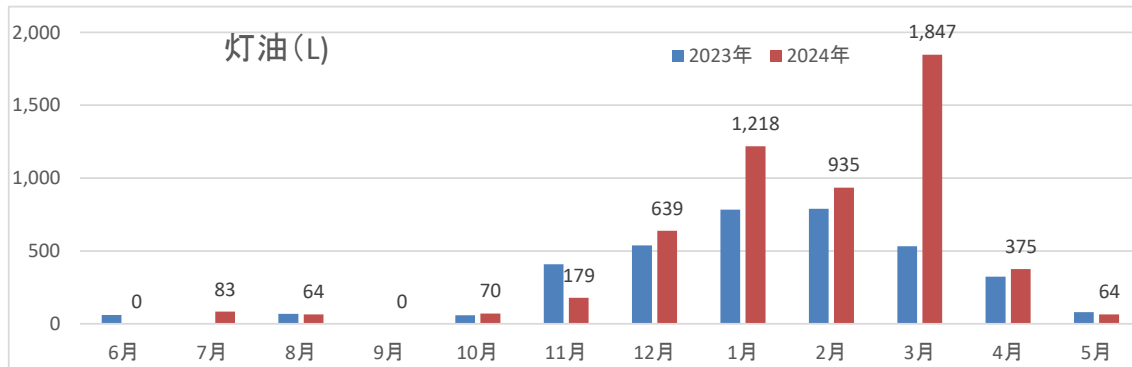
数値目標: ○達成 ×未達成
 活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】目標を達成できた。 【次年度の取組】更新時には省エネ機器の導入を行う。
原単位目標	○	
・空調温度の適正化(冷房26℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	△	
・働き方見直しによる残業時間の短縮	△	
・作業・業務の見直しによる効率化	△	



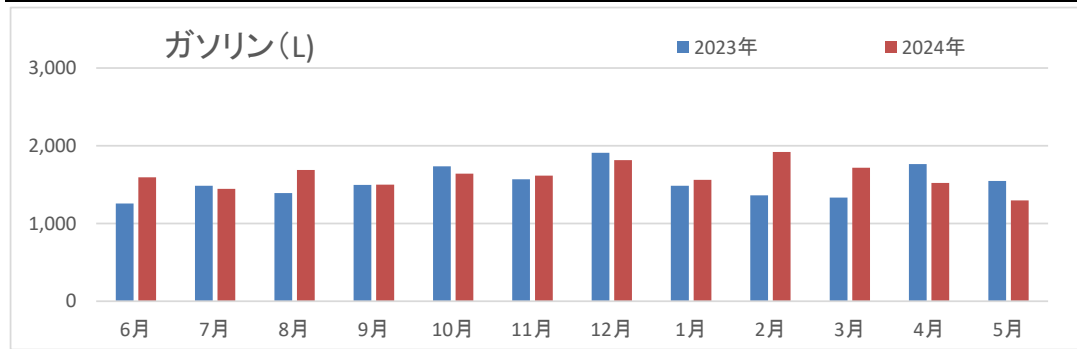
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年	629	815	1,218	1,231	837	874	1,275	1,293	1,223	1,223	1,088	725
2024年	648	661	921	799	652	765	997	1,241	1,102	1,282	989	740

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【評価】1月、3月は例年よりも気温が低く、コンクリート養生のための使用が多かった。
・温度の適正管理	○	
		【次年度の取組】温度の適正管理を行う。

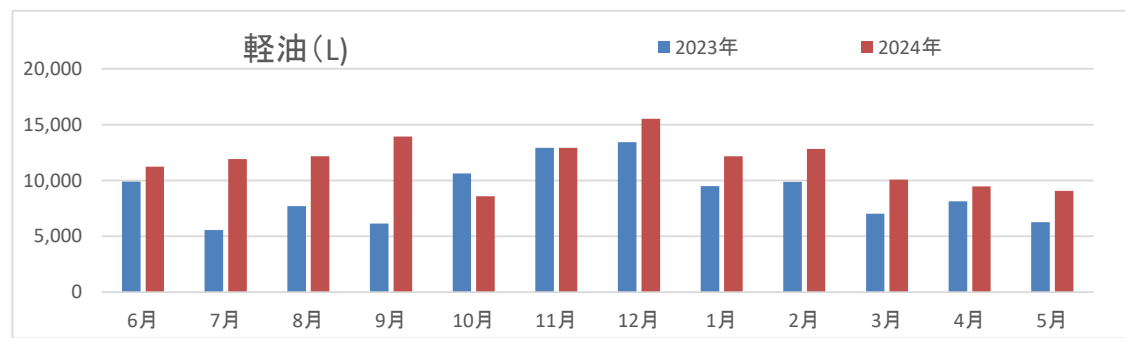


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年	60	0	69	0	59	408	538	784	789	532	323	79
2024年	0	83	64	0	70	179	639	1,218	935	1,847	375	64

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【評価】目標を達成できなかった。(25%増)
・エコドライブの徹底	○	ガソリンはほぼ例年通りであったが、軽油の使用量が増えた。
・効率的なルートで運搬	○	【次年度の取組】
・重機作業の効率化を図る	○	大型ダンプの使用時は省エネ運転に心がける。 車両や建設機械更新の際は省エネ型の機械を採用していく。

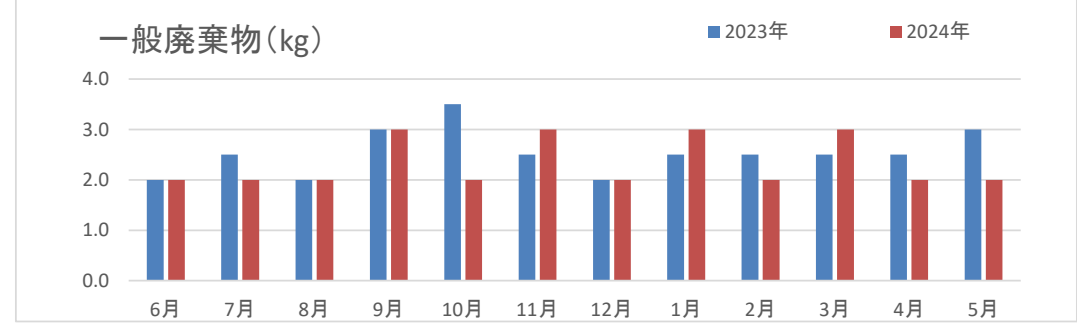


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年	1,258	1,485	1,392	1,496	1,737	1,569	1,909	1,486	1,363	1,333	1,763	1,548
2024年	1,594	1,445	1,687	1,500	1,640	1,618	1,815	1,562	1,920	1,716	1,523	1,296



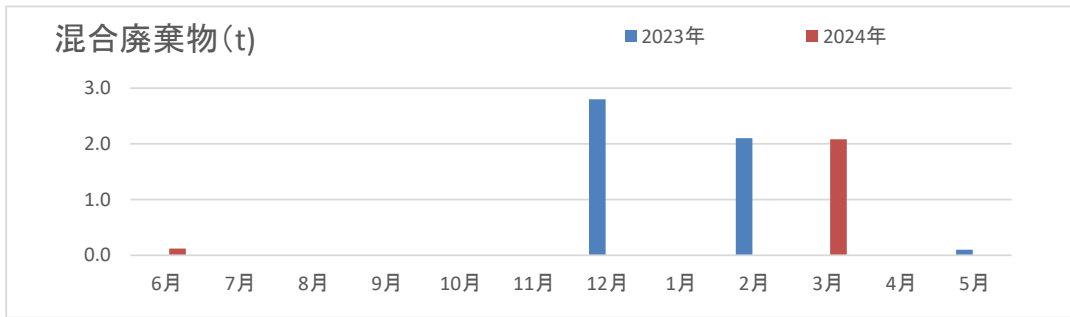
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年	9,889	5,556	7,707	6,140	10,623	12,914	13,432	9,485	9,860	7,033	8,135	6,254
2024年	11,232	11,911	12,156	13,938	8,585	12,914	15,524	12,155	12,815	10,068	9,463	9,068

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】目標を達成できた。(10%減)
・分別の徹底	○	【次年度の取組】書類は電子化に努め紙の使用を少なくする。印刷前にはプリンタの設定の確認する。
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・印刷時の設定の確認	△	
・持込ごみの見直し	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年	2.0	2.5	2.0	3.0	3.5	2.5	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	3.0
2024年	2.0	2.0	2.0	3.0	2.0	3.0	2.0	3.0	2.0	3.0	2.0	2.0

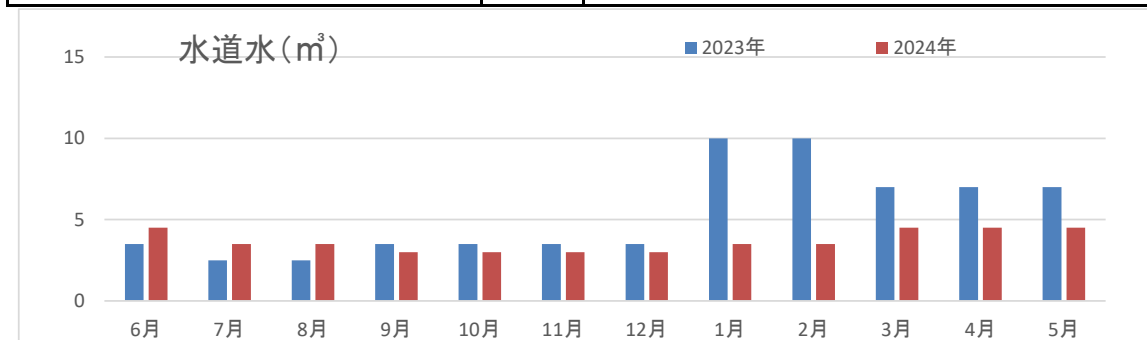
混合廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】ゴミの分別を徹底した事と、昨年度が多かったため今年度は大幅削減となった。(55%減) 【次年度の取組】引き続き分別の徹底に努める。
・素材別ボックスの設置	○	
・分別の徹底	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	2.1	0.0	0.0	0.1
2024年	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【評価】再資源化で出来ないがれき類が発生したため、目標を達成できなかった。(98.7%) 【次年度の取組】建設副産物の再資源化は順調に行われているので、引き続き進めていく
・分別の徹底	△	
・無駄な資材の発生抑制	△	

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】目標を達成できた。(30%減) 【次年度の取組】引き続き節水に努める
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・水漏れ等施設のチェック	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2023年	4	3	3	4	4	4	4	10	10	7	7	7
2024年	5	4	4	3	3	3	3	4	4	5	5	5

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事の効率化	○	【評価】ミス、クレーム等は報告されていない 【次年度の取組】工事の効率化を進め、品質の良い工事を安全に施工する
・作業ミスの防止	△	
・顧客クレーム削減	○	
・廃棄物の再資源化の推進(別項目で実施)	○	

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	法規制内容
廃棄物処理法	廃棄物の排出抑制と処理の適正化 マニフェストの適正使用・管理
リサイクル法	指定副産物の発生抑制(施工方法、資材選択)と再利用、再生利用、再資源化努力
建設リサイクル法	新築工事及び解体改修工事における、発注者への計画等説明書と完了報告書、 下請負者への告知書、知事への届出書(条例規定)
指定副産物利用促進省令	指定副産物の搬出量と再資源化施設への搬出量等計画の作成
排出ガス対策型建設機械 普及促進規程	公共工事における建設機械などの排出ガス対策型であることの確認
河川法	工事のための濁水等について漁協との協議
下水道法	不適切な下水を排出しない
道路交通法	道路使用許可の申請
フロン排出抑制法	冷媒用フロンの回収・破壊の措置

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

2024年度 報告された事故・苦情等はありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定: 消火訓練
■実施日: 2025/1/31 13:30~15:00
■参加者: 13名
■実施内容: <input type="checkbox"/> 通報訓練 <input type="checkbox"/> 漏洩油改修訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練
■評価: 手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子
 

代表者による全体の評価と見直し・指示

代表取締役 小池茂樹

実施日：2025/7/18

□経営における課題とチャンス

	内部	外部
課題	従業員の高齢化、休日が取れない 新規の社員が入らない	気候の変動や災害で仕事に影響が出る 公共工事の契約が取れない
チャンス	建設業新3K取り組みを行って行く。 (給料が良い・休暇がとれる・希望が持てる) 多様な人材の確保	新技術を習得し、より品質の良い施工を行って 受注につなげる(3D測量・ICT施工・3Dデータ活用)

□代表者による全体の評価と見直し・指示

<ul style="list-style-type: none"> ・今期は上半期に大型機械使用の現場が多く、二酸化炭素の削減につながらなかったが引き続きアイドリングストップや施工方法の改善等による作業効率化により削減をめざす。 ・ICT技術を導入した現場の総合管理や作業用データの内製化を進め技術力アップにつなげたい。 ・分別により混合廃棄物が減少した。来年度も評価が改善するように一層目標に向かって努力したい。 ・新3Kの取り組みや技術の習得を行い、魅力ある職場を作っていきたい。 ・SDGsの推進(女性社員等多様な人材の確保、ボランティアや協賛)を進める。

<指示事項>

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり